

# 2015

# レポート課題集



## E

### 平成20年度以前入学者科目 ～社会福祉士指定科目～

この部に記載の科目は社会福祉士国家試験受験資格指定科目で、平成20年度以前入学者が履修すべき一部の科目が掲載されています。福祉施設管理論、福祉計画法は指定科目ではありませんが、国家試験の出題科目ですので、学習されることをおすすめします。

平成21年度以降入学者と共通の指定科目は、『レポート課題集 A (社福・精保指定科目編)』をご覧ください。

平成20年度以前入学者の科目と、平成21年度以降入学者の科目の対照表は下記をご覧ください。

#### 平成20年度以前入学者のみが履修できる科目

| 科目コード  | 科目名            | 掲載ページ | 新カリキュラムにおける対応科目             |
|--------|----------------|-------|-----------------------------|
| CB3102 | 福祉法学 (4 単位)    | 2     | 福祉法学 (2 単位) + 更生保護制度論       |
| CC3106 | 医学一般 (4 単位)    | 5     | 医学一般 (2 単位) + 保健医療サービス論     |
| CL2116 | 児童福祉論          | 10    | 児童・家庭福祉論                    |
| CL2117 | 高齢者福祉論 (4 単位)  | 11    | 高齢者福祉論 (2 単位) + 介護概論 (2 単位) |
| CL2120 | 介護概論 (4 単位)    | 14    | —                           |
| DH3123 | 福祉計画法          | 18    | 福祉行財政と福祉計画                  |
| DE4125 | 福祉施設管理論        | 20    | 福祉経営論                       |
| CJ3126 | 社会福祉援助技術論Ⅰ     | 23    | —                           |
| CJ3127 | 社会福祉援助技術論Ⅱ     | 25    | 社会調査の基礎                     |
| CJ4128 | 社会福祉援助技術論Ⅲ     | 26    | —                           |
| CJ4129 | 社会福祉援助技術論Ⅳ     | 29    | —                           |
| CN3130 | 社会福祉援助技術演習Ⅰ    | 32    | 社会福祉援助技術演習 A                |
| CN4131 | 社会福祉援助技術演習Ⅱ    | 37    | 社会福祉援助技術演習 B                |
| CP5132 | 社会福祉援助技術現場実習指導 | 41    | 社会福祉援助技術実習指導 A・B            |
| CP5901 | 社会福祉援助技術現場実習   | 44    | 社会福祉援助技術実習                  |

# 福祉法学

~20◆

科目コード●CB3102

担当教員●志田民吉(左)  
菅原好秀(右)



4 単位 | R or SR | 1 年以上

※この科目は、平成20年度以前入学者に対して開設されている科目です。

## 科目の内容

福祉法学の科目は、科目名称の示すように社会福祉の仕事を行うにあたって必要とされる法学的な知識を、概括的に学ぶことを目的として設置されたものです。社会福祉の仕事を行う場合には、まず社会の一般市民としての部分を基礎に、社会福祉の部分の積み上げられた内容であることが求められます。法とは何か、それを理解する歴史的な知識、現行法令としての基本法（憲法、民法、行政法）、社会福祉サービス事業を行うに際しての最低限の知的情報（権利擁護制度、成年後見制度）などが、この福祉法学の科目における講義内容です。

## 到達目標

### 「福祉法学」の内容

- 1) 福祉法学の制度概要について述べるができる。
- 2) 基本的人権の制度趣旨(特に自由権・社会権)を、判例を踏まえて、説明することができる。
- 3) 成年後見制度の意義と活用方法について説明できる。
- 4) 憲法、民法、行政法の制度体系について説明することができる。

### 「更生保護制度論」の内容

- 1) 更生保護制度の制度概要について説明することができる。
- 2) 保護観察の制度趣旨と問題点について説明することができる。
- 3) 更生保護制度と社会福祉の関係性について、事例を挙げて解説できる。
- 4) 医療観察制度の制度趣旨と問題点について説明することができる。

## 教科書

- 1) 渡辺信英著『更生保護制度』南窓社、2011年
- 2) 社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座19 権利擁護と成年後見制度(第4版)』中央法規出版、2014年

(最近の教科書変更時期) 2014年4月

## 在宅学習15のポイント

『レポート課題集 A (社福・精保指定科目編)』『福祉法学』『更生保護制度論』 参照

### レポート課題

|       |  |
|-------|--|
| 1 単位め | 日本国憲法の基本原理の基本的人権と国民主権について述べなさい。                                  |
| 2 単位め | 地方自治体とは何か、また地方自治体の存在意味はどんなところにあると考えるか。                           |
| 3 単位め | 不法行為とは何か、福祉施設長の責任についても言及しなさい。<br>※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・web 解答可 |
| 4 単位め | 行政救済について述べなさい。<br>※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・web 解答可                |

### アドバイス

1単位め  
解説

この設題は日本国憲法とは何かを説明する際の最も大切な部分に関係します。

2単位め  
解説

憲法第92条以下に「地方自治」の章が規定されています。公の存在としては地方自治体の他に国などがありますが、国という団体の他に地方自治体という団体が何故に必要とされるのか、憲法に規定する意味は何処にあるのかを考えてまとめてください。

3単位め  
解説

不法行為は民法第709条以下に規定されています。私たちの社会は高速度交通機関などの発達が示すように、不慮の事故の生じる可能性は日々高まっています。日常生活において、契約制度と同様に不法行為の領域が重要になってくる所以でもあります。社会福祉の仕事は、社会福祉法人による事業経営に代表されるように、社会福祉のサービスを提供する組織や団体には、そこで供給される諸サービスに関し責任を負う責任者の存在があります。民法第715条（使用者責任）など不法行為として規定されている条文を読み、課題についてまとめてください。事例などもまじえて考え、レポートを作成するとまとめやすいでしょう。

4単位め  
解説

主として行政の仕事は、市民の生活に係わった内容です。制度上、行政の仕事は公益性が求められるが、公益性のために市民の個人の財産やその他の利益が不利益を被ることは、場合によっては避けられないことです。一方において、

公益性を確保するために個人の財産や諸利益を当然に犠牲としてもよいということにも、また合理性があるとはいえません。個人財産の保障は憲法の規定するところです。このようなところを基本的理解として持ちながら、法は行政によって公益を目指す場合、あるいは目指した場合、市民の財産権などの諸利益の保障には、どのような配慮をしているのかに視点を当て、レポートをまとめるとよいでしょう。

## 科目修了試験 評価基準

---

当該科目の内容理解がなされているかが重要であり、論述の分量（1問あたり400～800字程度）も評価対象となる。また、法の制度趣旨、意義を述べた上で、現実との関連から自分なりの視点から述べられていることも評価の対象となる。

## 参考図書

---

- 1) 志田民吉編著『改訂 法学』建帛社、2007年（改訂版）でなくても可
- 2) 社会福祉士養成講座編集委員会編集『新・社会福祉士養成講座20 更生保護制度（第3版）』中央法規出版、2014年
- 3) 渡辺信英著『行政法の基礎』南窓社、2010年

この科目のスクーリングは新カリキュラム「福祉法学」「更生保護制度論」との合併授業のため、スクーリング試験は6コマめと最終コマに2回行われる予定です。

# 医学一般 ~20◆

科目コード ● CC3106

担当教員 ● 柏木 誠 (左)  
澤田 悦子 (右)



4 単位 | R or SR | 2 年以上

※この科目は、平成20年度以前入学者に対して開設されている科目です。

※スクーリングを別教員（井手貴治先生・山本邦男先生・佐藤英仁先生）が担当いたします。

## 科目の内容

日本人の死因は、食生活や運動、嗜好など、日常生活上の不健康な生活習慣の積み重ねによる生活習慣病と深くかかわっています。また、加齢に伴う様々な体の変化は、疾病を生じやすくします。

社会福祉に従事する人にとって、医療の基礎的な知識を持つことは不可欠ですが、私たちがより健康的に生活する上でも、人体や老化、疾病などについて理解することは大切です。福祉関係職種に従事することを目指している人は、利用者の医療と一緒に考えることができるように心がけて学んでください。

本科目では、基本的な人体の構造と機能を理解した上で、直面する頻度の高い障害や疾病について医学的に理解します。さらに、予防対策や行政の取り組みなど、医療にかかわる広範囲な内容を、「医学一般」として学びます。

単位修得、国家試験や仕事のためだけではなく、学んだ知識を日々の生活に生かす、生きた勉強を心がけてください。

## 到達目標

- 1) 加齢に伴う生理機能の低下と、高齢者に多い疾患（慢性腎臓病、高血圧、誤嚥性肺炎など）との関連について説明できる。
- 2) 高齢者に多い疾病および症状の特徴について説明できる。
- 3) 免疫（特に液性免疫）について説明できる。
- 4) 脳の機能と関連させて考え、認知症の中核症状と、主な原因疾患について説明できる。
- 5) 生活習慣病および、生活習慣との関連について説明できる。主な生活習慣病について説明できる。メタボリック症候群と関連させて説明できる。
- 6) 介護保険の特定疾病と、高齢者に多い神経疾患と精神疾患の特徴を説明できる。

※スクーリング受講者は『レポート課題集 A（社福・精保指定科目編）』「保健医療サー

ビス論」欄の「到達目標」もご確認ください。

## 教科書

- 1) 社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座1 人体の構造と機能及び疾病(第3版)』中央法規出版、2015年(第3版でなくても可)
- 2) 社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座17 保健医療サービス(第4版)』中央法規出版、2014年

(最近の教科書変更時期) 2015年3月

## 在宅学習15のポイント

『レポート課題集A(社福・精保指定科目編)』『医学一般』参照

## レポート課題 すべて【説明型レポート】(各200字以上400字以内)

※ p.7 記載の注意(1)~(5)をよく読んでください。

|       |  |
|-------|--|
| 1 単位め | <ol style="list-style-type: none"><li>① 液性免疫について説明せよ。リンパ球の働きと関連させて記述すること。</li><li>② 加齢に伴う生理機能の低下について説明せよ。特に、肺と腎機能低下について考察しておくこと</li><li>③ 老年症候群について説明せよ。</li><li>④ 高齢者が脱水症状になりやすい理由を述べよ。</li></ol>   |
| 2 単位め | <ol style="list-style-type: none"><li>① 腎臓の働きについて説明せよ</li><li>② 慢性腎臓病(CKD)について説明せよ。また、CKDと加齢や他の疾患との関連について考察せよ。</li><li>③ 生活習慣病の定義を述べよ。主な生活習慣病を挙げ、生活習慣と関連させて説明せよ。死因との関連について考察しておくこと。</li><li>④ メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)について説明せよ。糖代謝異常との関連を記述しておくこと。また、特定健診の必要性についても考察しておくこと。</li></ol>   |
| 3 単位め | <ol style="list-style-type: none"><li>① 中枢神経について説明せよ。高次脳機能および、高次脳機能障害との関連について考察せよ。</li><li>② 認知症の定義と症状、および、認知症の原因疾患について説明せよ。</li><li>③ 高齢者がかかりやすい神経疾患について述べよ。とくに、介護保険の特定疾病に指定されている疾患については、説明を加えておくこと。(認知症の説明は省いて良い。)</li><li>④ 高齢者に多い精神疾患について述べよ。</li><li>⑤ 高齢者に多い疾患を挙げ、簡単に説明せよ。(生活習慣病や、精神・神経疾患と重複する疾患については、省いてよい。)</li></ol> <p>※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・web 解答可</p> |

## 4 単位め

- ① 感染症および、日和見感染症について説明せよ。感染症予防についても考えておくこと。
- ② 日常生活動作（ADL）の語句を、簡単に説明せよ。
- ③ 介護保険の第2号被保険者および、特定疾病について説明せよ。（すでに他の課題で説明している疾患については、疾患名を挙げるだけで良い。）
- ④ 廃用症候群の定義を述べよ。また、廃用症候群を起こしやすい身体諸器官を挙げよ。
- ⑤ 高齢者が寝たきりになる原因について考えよ。

※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・web 解答可

- 注意** (1) 年度により問題が異なり、また、問題文も長いので、レポート用紙の「課題」欄には、「2015年の問題に解答する」のように、課題の年度のみを記入し、問題文は記入しないでください。「解答欄」にも、問題の番号のみを記入し、問題文は記入しないでください。
- (2) 各問に対して、200字以上400字をめやすに、単位毎に、1,600字以上2,000字以内になるように、簡潔明瞭にまとめてください。定義を最初に記述し、詳細や例はその後に記述するとわかりやすくなります。
- (3) 教科書や文献をそのまま写すのではなく、自分自身の言葉で、要点をまとめなおしてください。
- (4) 解答として何が求められているのかを考えて、求められた解答を記述することが大切です。
- (5) 解答欄に、不必要に大きな余白はとらないでください。

(平成25年度以前履修登録者) 2014年4月よりレポート課題が変更になりました。『レポート課題集2013』記載の課題でも2015年9月末までは提出できますが、できるだけ新しい課題で提出してください。

## アドバイス

「医学一般」では、疾病や障害についての基本的な理解をします。

慢性期や終末期の医療は、医療関係職種と、福祉関係職種とのチームアプローチによって、在宅で展開されることが多くなってきています。特に、福祉関係職種に従事することを目指している者は、利用者の医療と一緒に考えることができるように心がけて学んでください。

テキストを、まず一通り読んで、全体的に理解してから課題に取り組んでください。同じ疾病が何か所かに分かれて記載されていることがありますが、総合的に関連づけられるような学び方が大切です。

教科書は簡単に記述してあるため、理解し難いと感じる人も多いと思います。教科書では理解が不十分だと感じたら、高校の教科書を復習したり、他の文献で調べたりすることをお勧めします。

NHK 出版の「きょうの健康」は、新しい知識を得るのに良い雑誌です。

医療制度や介護保険制度、障害者福祉制度など、改正されることが多い制度については、新聞などのニュースに注意して、ふだんから学ぶ姿勢を心がけてください。COPD やサルコペニアなど、最近話題になることの多い疾患にも関心を持って生活してください。

### 1単位め 解説

人体の構造と機能は、老化や疾病を理解するための基礎知識として重要です。課題にないところも熟読しておいてください。

老化について学ぶことは、高齢者の病気や病気予防を理解することにつながります。加齢に伴い顕著に機能低下する器官と、比較的機能低下せずに高齢まで維持され続ける機能に分けて考察してください。

### 2単位め 解説

腎臓は、血液の浄化以外にも、生命を維持するための様々な機能を持っています。内臓の脂肪細胞は、さまざまな生理活性物質を分泌しています。内臓脂肪が蓄積すると、分泌異常になるため、高血糖、高血圧、動脈硬化などを発症しやすくなります。生活習慣病が、相互に影響しあって増悪することに留意してください。

日本人の死因の第3位は、2011年から肺炎になっていますが、多くは生活習慣病と関係しています。疾患名や生活習慣との関係を具体的に考えてください。

### 3単位め 解説

高齢者に多い神経疾患や精神疾患は、神経系の疾患です。特に脳の機能について理解することで、認知症や高次脳機能障害の理解が深まります。高度で複雑な中枢神経の機能を丸暗記する必要はありませんが、大脳皮質、脊髄、中脳、海馬、扁桃体など、疾病を理解するうえで頻出する部位については確認しておいてください。

### 4単位め 解説

どのような人が日和見感染症を発症するのか考えてください。

高齢者に多い疾患や、特定疾患（難病）、特定疾病（介護保険）についても理解しておいてください。疾患名だけでなく、病理・病態や、治療法を調べて、理解を深めておいてください。高齢者は非定型的な症状を呈することが多いなど、高齢者の疾病の特徴についても考察しておくの良いレポートになります。高齢者では、寝込むような基礎疾患がなくても、簡単なきっかけで廃用症候群になったり、寝たきりになったりすることを理解し、予防について考えてください。

## レポート 評価基準

- ① 問われていることを理解し、求められていることに応えている。即ち、レポートを読めば、逆に問題がわかるようなレポートになっている。

- ② 教科書などの丸写しではなく、納得したうえで自分の言葉でまとめている。
- ③ 要点を、簡潔に、読み手にもわかるようにまとめている。
- ④ 学び方がわからないと思われる場合は、再提出を求める。助言を参考に書き改めて、再提出したものを評価する。

## 科目修了試験 評価基準

- ① レポートをまとめる中で学んだ知識が、身についている。ただし、年代や細かい数字などを暗記する必要はない。
- ② 教科書などから学んだ知識が感じられる答案であること。一般常識や、仕事上で得た知識だけでは不十分なので注意する。
- ③ レポート添削の「講評・指導」などの助言を考慮している。
- ④ web 試験は、持ち込みなので、採点は厳しくなる。「レポート課題を理解していない」「教科書を試験前に読んでいない」と判断されれば、不合格とする。

## 参考図書

人体の基礎知識の参考書として

貴呂富貴子ほか著『シンプル生理学』南江堂、2008年

黒沢美枝子ほか著『生理学』(コメディカルのための専門基礎分野テキスト) 中外医学社、2012年

中野昭一編『図説 ヒトのからだ』医歯薬出版、2001年

鈴木庄亮ほか著『シンプル公衆衛生学』南江堂、2009年

『NHK 今日健康』日本放送協会出版、月刊誌

別冊 NHK 今日健康シリーズ (『認知症』、『メタボリックシンドローム』、『うつ病』、『高血圧』など)

山田正仁ほか著『認知症のベストアンサー』主婦と生活社、2012年

Newton 別冊『脳と心』株式会社ニュートンプレス、2012年

田沼久美子ほか著『しくみと病気がわかるからだの事典』成美堂出版、2007年

小安重夫ほか著『免疫学マスター』羊土社、2007年

## スクーリング受講者へのご注意

この科目のスクーリング(12コマ)は、平成22年度より、新カリキュラム「医学一般」(6コマ)「保健医療サービス論」(6コマ)との合併授業を行います。また、スクーリング受講者は『新・社会福祉士養成講座17 保健医療サービス』を所持していない場合、購入が必要です。

# 児童福祉論

～20◆

科目コード●CL2116

担当教員●千葉喜久也(左)  
君島昌志(右)



---

**4** 単位 | **R or SR** | **1** 年以上

---

※この科目は、平成20年度以前入学者に対して開設されている科目です。平成21年度以降に入学した方は履修することはできません。

※この科目は、「児童・家庭福祉論」と同じ内容です。科目内容・レポート課題等は『レポート課題集 A (社福・精保指定科目編)』『児童・家庭福祉論』を参照してください。

# 高齢者福祉論

~20◆

科目コード●CL2117

担当教員●中里 仁(左)  
後藤美恵子(右)**4** 単位 | **R or SR** | **1** 年以上

※この科目は、平成20年度以前入学者に対して開設されている科目です。

※21年度以降に開講される高齢者福祉論スクーリングでは、7～12コマめの講義内容が20年度以前の介護概論のスクーリングと重複する可能性がありますので、ご了承ください。

※会場によりスクーリングを別教員（小森弘道先生、石附敬先生）が担当いたします。

## 科目の内容

高齢者福祉の理念および目的について学習し、あわせて現行の高齢者福祉施策の体系の全般的理解とその課題について考察します。具体的な内容は、次の通りです。

- (1) 高齢者の特性について理解する。
- (2) 少子高齢化と高齢者を取り巻く諸問題について学習する。
- (3) 高齢者保険福祉の発展と体系について学習する。
- (4) 高齢者支援の関係法規について学習する。
- (5) 介護保険制度の基本的枠組みを理解する。
- (6) 介護保険制度の仕組みとサービスの体系を理解する。
- (7) 高齢者を支援する組織と役割について学習する。
- (8) 高齢者支援の方法と実際、専門職の役割を理解する。

## 到達目標

わが国の高齢者福祉の現状と課題を理解し説明することができる。

※スクーリング受講者は『レポート課題集 A（社福・精保指定科目編）』『介護概論』欄の「到達目標」もご確認ください。

## 教科書

社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座13 高齢者に対する支援と介護保険制度（第4版）』中央法規出版、2015年（第4版でなくても可）  
（最近の教科書変更時期）2015年3月

## 在宅学習15のポイント

『レポート課題集 A (社福・精保指定科目編)』「高齢者福祉論」参照

### レポート課題

|       |  |
|-------|--|
| 1 単位め | “高齢社会とは何か” “高齢者（老人）とは何か” について自らの体験等に基づいて、見解を述べなさい。                           |
| 2 単位め | 高齢者福祉の成立要因について、具体的事例等をあげながら論述しなさい。   |
| 3 単位め | 戦後の高齢者福祉施策の体系について時系列で整理し、その課題について論述しなさい。<br>※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・web 解答可  |
| 4 単位め | 介護保険制度の概要について整理し、その課題について具体例をあげながら論述しなさい。<br>※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・web 解答可 |

### アドバイス

「高齢者福祉論」の学習は、全般的には高齢者福祉施策の体系に関する知識的理解が中心となりますが、最終的には履修者各自の高齢者観（像）の再考と“古い”＝生きることへの価値観を涵養することにつきます。したがって、「高齢者福祉論」を履修される方は、単なる知識的理解に留まることなく（これも大切な学習ですが……）、常に自らの人生経験と絡め、考察し続けながら学習をしてください。

なお、レポートに要求する内容を考えると、**1単位につき1,800字以上**でまとめてくださることを希望します。1,800字未満では再提出になる可能性が高くなります。

#### 1単位め 解説

そもそも“高齢者”“老人”とは何かを、各自もう一度自分と関連させながら考えてください。人間は何歳から《老人》になるのか、いつから《大人》になるのか、そしていつ《子ども》であることを卒業(?)するのか。借り物の知識ではなく、自らのまた身近な方の例をあげながら述べてみてください。そして、「あなたは年齢を重ねた時、“高齢者”と呼ばれたいですか、それとも“老人”ですか」。レポート作成過程で自らの“高齢者”観が確認できればよいのですが……。

2単位め  
解説

高齢者福祉の成立は、単なる高齢者（老人）の増加ではありません。単純に高齢者問題と呼ぶこと自体が問題でもあります。むしろ高齢者を取り囲む状況・環境の方に問題があるのではないかという視点から考えてみてはどうでしょうか……。女性の生き方の変化に注目して、多角的に考えてみてください。

3単位め  
解説

戦後の高齢者福祉施策の体系について、時系列で整理してください。また各自の常識的視点からで結構ですから、批判的に高齢者に係わる在宅そして施設福祉サービス等の課題（問題）について述べてみてください。

4単位め  
解説

介護保険制度の施行は、従前の老人福祉のあり方を、根本から変更したといえます。これからの高齢者福祉分野で具体的な活動を行う方は、介護保険制度を熟知する必要があります。そこで、教科書、および各自の在住する自治体の介護保険制度に関するパンフレット等を参照しながら、概要をまとめてみてください。また、各自の体験、身近な方（できれば高齢者）の意見を聞きながら、課題（問題）について述べてみてください。

## 科目修了試験 評価基準

テキストの内容を自身で要約することにより、下記の項目について理解を深めて下さい。

- 1) 介護保険サービスの体系を理解しているか。
- 2) 介護保険サービスの「居宅サービス」を理解しているか。
- 3) 介護保険サービスの「施設サービス」を理解しているか。
- 4) 介護保険サービスの「地域密着型」サービスを理解しているか。

## 参考図書

二瓶貴子著『施設に暮らしを』筒井書房、2009年  
千葉喜久也・中里仁著『高齢者福祉論－利用者主体の支援をめざして』中央法規出版、2007年

# 介護概論

~20◆

科目コード●CL2120

担当教員●後藤美恵子



4 単位

R

2 年以上

※この科目は、平成20年度以前入学者に対して開設されている科目です。

※21年度以降に開講されている高齢者福祉論スクーリングの7～12コマめの講義内容は、20年度以前の介護概論のスクーリングと一部重複しますので、ご了承ください。

※この科目は平成22年度より履修方法が「R」となりました。

## 科目の内容

要介護者の生活支援においては、その援助に医療、保健、福祉などの分野が包括的に関わってきます。本講では、まず、要介護者に対する介護とはどのようなものなのかを理解するために、前半では、要介護者理解のための福祉的援助の考え方や基本的知識を学習します。これを踏まえて、後半では、生活援助を展開する上で必要となってくる専門的知識や方法論の概説、ならびにその実際を取り上げることにより、生活支援技術の基礎理論を習得することを目的とします。

## 到達目標

- 1) 介護を取り巻く社会的背景について説明できる。
- 2) 「介護」をどのように定義づけるのか、介護の概念について説明できる。
- 3) 介護の範囲の考え方と専門性に求められる資質について説明できる。
- 4) 介護過程の仕組みについて説明できる。
- 5) 認知症の原因と症状を踏まえ、認知症高齢者の対応方法について説明できる。
- 6) ターミナルケアについて生活の質の観点から説明できる。

## 教科書

福祉士養成講座編集委員会編『新版 社会福祉士養成講座14 介護概論（第4版）』中央法規出版、2008年

## 在宅学習15のポイント

『レポート課題集 A（社福・精保指定科目編）』「介護概論」参照

## レポート課題

|       |   |
|-------|---|
| 1 単位め | 介護の概念を捉えた上で、介護の神髄と職業倫理についてを介護の社会的動向と関連づけながら、具体的に論述しなさい。   |
| 2 単位め | 要介護者の自立や自己実現を達成し、QOLを向上させるために必要な関連職種の連携のあり方についてまとめた上で、さらに連携がもたらす効果について論述しなさい。   |
| 3 単位め | 要介護者の生活援助を展開する上での基本的な介護技術をまとめなさい。その上で、要介護者がその人らしく生活することの意義を考え、さらにそれを可能にするために専門職者としてのあり方について具体的に論述しなさい。  |
| 4 単位め | ① 認知症高齢者の状態像についてまとめ、周辺症状（行動障害）への対応方法も含め、専門職に求められる認知症介護のあり方について論述しなさい。<br>② 生活の質としてのターミナルケアを実践していく上での考え方と、具体的な援助方法について論述しなさい。（①②の両方について解答すること） |

## アドバイス

本科目では、要介護者の生活援助をする上での知識や、その背景にある理念、概念を習得することにより、要介護者への福祉的援助を行う者としての基盤を構築することを学習の目的としています。目的を達成するためには、テキストや資料を熟読し、その内容をまとめるという作業が求められます。さらに、学習を展開させる過程においては、必要な情報を、資料や文献から検索する力やそれらをまとめて自身の考えを論述する（総括・考察）力も求められてきます。本科目では、そのような体系的な学習法を習得するために、レポート課題は以下のように段階的に展開する形に構成しています。

まず、①各单位において必修すべき内容（理念や概念的内容）を、テキストを参考にし、要約することを行います。その上で、②その内容を福祉実践に生かすための具体的な知識や技能、考え方、また、現状などをテキストや他の資料などを基に調べたり、考えたりし、最後に、③各单位で示す課題に対して考察を行い論述していただきます。

本課題を考察するに当たっては、介護に関する社会的動向や問題に注目したり、インターネットを利用して情報を収集するなど、常に最新の福祉情報を得よう心掛けて下さい。そのような過程を基に、広い視野で学習展開をされることを期待します。

1単位め  
解説

介護の本質をどのように捉えるか、といった「介護観」について考えることが核となります。序章から第1章をよく読み、介護の概念を専門的視点から簡潔にまとめ、さらには専門職に求められる介護の神髄と職業倫理についてを具体的な社会の動向と関連づけながら論述してください。

2単位め  
解説

要介護者のニーズに応じた質の高い介護（生活支援）を提供するための「関連職種連携」について、テキスト第3章をよく読み、「保健・医療・福祉の連携」「利用者主体の連携」を中心に簡潔にまとめ、連携が要介護者の自立や自己実現、更にはQOLに、どのように影響や効果をもたらすのか、その重要性について、自身の考えを論述してください。

3単位め  
解説

専門職として、介護（生活支援）を展開する上での基本的な専門技術を第4章を中心に、理論的根拠を踏まえた上で簡潔にまとめてください。ここでは「介護」とは、直接援助のみならず、間接援助であるコミュニケーションや生活環境等も含まれることを理解しておいてください。専門職としての介護のあり方も介護保険制度の導入と共に変化しています。介護保険の基本理念である「利用者本位」「自立支援」を適切に具現化する上での「その人らしい生活」の意義について自身の考えを述べ、基本的な専門技術の個別展開のあり方について論述してください。

4単位め  
解説

① 高齢社会と共に認知症高齢者が増加し、認知症介護についてはゴールドプラン21に基づいて国レベルで取り組まれています。これまで「問題行動」と言われてきた周辺症状も近年では「行動障害」と呼ばれるようになり、さらに「BPSD」という新たな概念が出てきました。ここでは、新たな介護の専門性を押さえる意味で、第5章2節を中心に「認知症高齢者とは」といった状態像をまとめ、認知症高齢者に対する適切な生活援助を展開する上での介護のあり方について、周辺症状（行動障害）への対応を含めて論述してください。

※ 「痴呆」という用語は、侮辱的な表現である上に、「痴呆」の実態を正確に表しておらず、早期発見・早期診断等の取り組みの支障となっていることから、平成16年12月24日「痴呆」に替わる用語に関する検討会報告書が厚生労働省より出され、「認知症」という用語に呼び替えることになりました。

「認知症」への変更にあたっては、単に用語を変更することが目的ではなく、「認知症」に対する誤解や偏見の解消等という点からも正しい理解を深めてください。

② 生活援助におけるターミナルケアのあり方を、生活（命）の質を重視した「ホスピスケア」の視点から捉え第5章3節を中心に要約し、生活支援の視点においてターミナル

ケアを実践していく上での自身の考え方を述べ、具体的な援助方法について論述してください。

## 科目修了試験 評価基準

- 1) 出題された課題の内容について理解できているか。
- 2) 課題に対する解答が指定のテキストの内容を踏まえているか。
- 3) テキストの内容を踏まえて、課題に対する自身の視点で考察がされているか。
- 4) 記述の分量が、800字程度以上書かれているか。

## 参考図書

- 大島侑監 杉本敏夫・島津淳編著『介護福祉論』ミネルヴァ書房、2002年
- 太田和雄編著『ターミナル・ケアの実践』先端医学社、1996年
- 社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座13 高齢者に対する支援と介護保険制度』中央法規出版、2009年
- 介護福祉士養成講座編集委員会編『新・介護福祉士養成講座3 介護の基本Ⅰ』中央法規出版、2009年
- 介護福祉士養成講座編集委員会編『新・介護福祉士養成講座4 介護の基本Ⅱ』中央法規出版、2009年
- 本間 昭編『介護福祉士養成テキストブック11 認知症の理解』ミネルヴァ書房、2009年
- 柴田範子編『介護福祉士養成テキストブック6 生活支援技術Ⅰ』ミネルヴァ書房、2009年
- 柴田範子編『介護福祉士養成テキストブック7 生活支援技術Ⅱ』ミネルヴァ書房、2009年

# 福祉計画法

~20◆

科目コード●DH3123

担当教員●中里 仁(左)  
佐藤 英仁(右)



2 単位 | R or SR | 2 年以上

※この科目は、平成20年度以前入学者に対して開設されている科目です。平成21年度に入学した方は履修することはできません

## 科目の内容

社会福祉の計画は、国、都道府県、市町村などのほかに社会福祉協議会という民間の福祉団体が計画の主体として取り組んでいます。そして、平成15年4月からは市町村が計画の主体となり地域福祉計画が施行されています。

こうした計画のもつ意義を理解するとともに、ただ教科書を学ぶだけではなく、自ら住むまちの総合計画や福祉計画を具体的に知り、検討を加えることが大切です。今、自分の住んでいるまちでどのような計画のもとに施策が進められているか知っていますか。

## 到達目標

- 1) 福祉行政の組織および国と地方自治体の関係について説明できる。
- 2) 社会保障関係費や民生費の現状を説明できる。
- 3) 福祉行政を担う専門機関や専門職について説明することができる。
- 4) 具体的な福祉計画について根拠法と関連付けて解説できる。

## 教科書

社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座10 福祉行財政と福祉計画 (第4版)』中央法規出版、2014年(第4版でなくても可)

(最近の教科書変更時期) 2014年3月

## 在宅学習15のポイント

『レポート課題集A(社福・精保指定科目編)』『福祉行財政と福祉計画』参照

## レポート課題

### 1 単位め

次の課題のなかから **1 題を選び**、論述せよ。

- ① 福祉計画の概要について述べよ。
- ② 福祉計画の目的・意義について述べよ。
- ③ 地域福祉計画のねらいと特性について述べよ。

### 2 単位め

次の課題のなかから **1 題を選び**、論述せよ。

- ① 福祉計画におけるニーズ把握について、その概念・類型・技法について述べよ。
- ② 福祉計画における評価技法と実際、その課題について述べよ。

※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・web 解答可

(平成22年度以前履修登録者) 2011年4月よりレポート課題が変更されています。『レポート課題集2010』記載の課題での提出は、2012年9月で受付を締め切りました。

## アドバイス

レポート課題は教科書の演習問題であり、しっかりと読めばレポートはそんなにむずかしいものではありません。ここで大切なことは、教科書を一般論として理解するとともに、いちばん身近な自分が住んでいるまちの総合計画や福祉計画に触れてみることです。

今日、計画を入手するためには役所を訪ね、購入するのが一般的ですが、計画書を手元に教科書を読めば、より具体的に計画法が理解できると思います。それよりも何よりも自分が毎日生活している場への理解と問題点を見つけることができれば批判もできることになり、自分の住んでいるまちを良くしていくための方策を考えながらレポートに取り組む姿勢も大切です。

## 科目修了試験 評価基準

テキストの内容を自身で要約することにより、下記の項目について理解を深めてみてください。

- 1) 福祉計画の目的と意義を理解しているか。
- 2) 福祉計画の理論と技法を理解しているか。
- 3) 福祉計画の実際を理解しているか。

## 参考図書

都築光一著『新しい地域福祉推進の理論と実際』中央法規出版、2007年

# 福祉施設管理論 ~20◆

科目コード●DE4125

担当教員●高橋誠一



4 単位 | **R or SR** | 3 年以上

この科目は、平成20年度以前入学者に対して開設されている科目です。平成21年度以降に入学した方は、履修することはできません。

## 科目の内容

社会福祉法人は社会福祉の中心的な担い手として、これまで以上の役割を期待されています。日本の社会にも、近年さまざまな格差が生まれるようになり、低所得者の社会問題など、これまでの社会福祉法人の取り組みがますます必要になる状況にあります。

しかし一方で、これまで社会福祉事業を中心とした福祉分野は、利用者を中心とした福祉サービスへとその提供のあり方が大きく変わってきました。その背景には、地域生活支援・自立生活支援ニーズが高まり、従来の福祉援助の仕組みでは対応が困難になってきたことがあげられます。その結果、福祉サービスの特質に配慮しながらも、増大する福祉サービスのニーズに応えるために、特定非営利活動法人（NPO）、民間企業、医療法人などさまざまな法人が事業所を運営して福祉サービスを提供できるように規制が緩和されてきました。

この科目では、社会福祉法人の福祉サービス経営について学んでいきますが、福祉サービス提供組織の多様性も念頭に入れ、共通する内容に重点を置きます。福祉サービス提供組織の存在理由は、利用者へのサービス提供にあります。利用者を中心とした福祉サービスは、利用者のニーズを理解し、本人や家族、地域の住民と協力して提供していくことが多いので、画一的ではない柔軟なサービス提供が求められます。経営者や管理者は、小規模な事業所以外では、直接利用者にサービスを提供することは多くありませんが、生活支援や介護、相談援助を行う職員を通して利用者に貢献しています。ですから、経営者や管理者は職員が働きやすい環境を作り、人材を育成し、必要な資源や組織環境を整えることが重要な仕事になります。そのためには、利用者中心の理念を明確にし、組織的な事業経営に取り組む必要があります。

## 到達目標

- 1) 福祉サービス経営者としての法人の役割を説明できる。

- 2) 職員をサポートしリードしていく管理者の役割を理解し、説明できる。
- 3) 福祉サービスの質を保証し、利用者の選択と意見を取り入れていく仕組みや第三者評価を説明できる。
- 4) 職員の待遇、人材の確保、人材の育成を理解し、説明できる。
- 5) 会計財務管理の基本を理解し、説明できる。
- 6) 経営学の基礎知識を理解し説明できる。

## 教科書

社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座11 福祉サービスの組織と経営（第4版）』中央法規出版、2013年（第4版でなくても可）

（最近の教科書変更時期）2013年3月

## 在宅学習15のポイント

『レポート課題集 A（社福・精保指定科目編）』『福祉経営論』参照

## レポート課題

|       |  |
|-------|--|
| 1 単位め | 福祉サービスにおける社会福祉法人の特質と役割を説明せよ。                             |
| 2 単位め | 利用者中心の福祉サービスの提供を実現するために必要と考えられることを述べよ。                   |
| 3 単位め | 職員が働きやすい事業所の運営について説明せよ。                                  |
| 4 単位め | 福祉サービスの質の改善方法について述べよ。<br>※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題・web 解答可 |

## アドバイス

1 単位め  
解説

多様な法人が福祉サービスを提供していますが、社会福祉法人は社会福祉事業を担う特別法人として設立を認められた法人です。そのため厳しい規制を受けますが、他の法人では認められない福祉サービスの提供を行うことができます。社会福祉法を読み返して、社会福祉全体の中で、社会福祉法人の役割について考えてください。

## 2単位め 解説

利用者中心の福祉サービスとは何かを考えてください。利用者中心は利用者本位、利用者主体と呼ばれることもあります。利用者中心の福祉サービスを考えるために、そうではない場合、すなわち提供者中心の福祉サービスを考え、対比すると、はっきりすると思います。一般のサービスでは、消費者主権という言葉が使われますが、これは利用者中心と同じでしょうか。ここでは、直接サービスを提供する職員の立場だけでなく、福祉サービス提供組織の経営者の立場からも考えてください。どのような理念や事業経営が必要になるのでしょうか。

## 3単位め 解説

職員が働きやすいとはどういうことでしょうか。職員の能力を発揮できる、やりがいを持てる、必要なスキルを身につけることができる、仕事を通して自分自身が成長できるということがあるでしょう。チームの一員として自分の役割を果たせることもあるでしょう。なによりも、利用者が必要とし、役立つ支援をできることが働きやすい職場となると思います。そのためには、経営者や管理者はどのように職員を支援していけばよいのでしょうか。また、賃金やキャリアアップの仕組みがはっきりしていることなども重要です。

## 4単位め 解説

福祉サービスの質は、「言うは易く行うは難し」といえるでしょう。外部の評価としては第三者評価や認証制度があります。事業所自身が、自己評価に取り組むこともあります。このように定期的に、サービスの質を評価し改善に取り組むこともありますが、苦情やサービスの問題を自ら認識して、それに組織的に取り組むこともあります。サービスの質は、利用者の評価にも反映されます。このように福祉サービスの質は、多面的ですが、よりよいサービスを提供することは福祉サービス提供組織の使命と言えるでしょう。

## 科目修了試験 評価基準

内容を理解した上で書かれているかを重視しますが、キーワードが書かれており、適切に使用されているか、を評価します。

## 参考文献

教科書の文献欄をご覧ください。

# 社会福祉援助技術論Ⅰ（ケースワーク）

~20◆

科目コード●CJ3126

担当教員●山川敏久



2 単位

R

2 年以上

※この科目は、平成20年度以前入学者に対して開設されている科目です。平成21年度に入学した方は履修することはできません。

## 科目の内容

人間一人一人の性格が異なるように、福祉の援助を必要とし、サービスを利用しようとする人々の暮らしも当然のことながら個別的であり、多様な生活課題を抱えています。

「社会福祉援助技術論Ⅰ～Ⅳ」では、そのような多様な生活課題をかかえている人に対して、相談支援活動を中心に、課題を解決し、自立を促進するための社会福祉援助（ソーシャルワーク）の技術を学びます。

「社会福祉援助技術論Ⅰ」では、まず社会福祉援助活動の基本的枠組み（教科書1）p.25～29の「4つの総体」やp.29～32の「10のP＝基本的構成要素」を理解しておく必要があります。また、専門職として援助活動を遂行する際の倫理、原則（人権尊重・権利擁護・自立支援など）を教科書1）p.36～41にあげられた事例などを通して理解していただくことが必要です。さらに、社会福祉援助技術は、大別すると「直接援助技術」と「間接援助技術」、その他の関連援助技術に分けられます（教科書1）p.140～157）が、そのような体系を学んだ上で、社会福祉援助技術の共通課題である契約・介入・面接・記録・評価、スーパービジョンなどの意義と方法についても知っておく必要があります。これらの内容については、「社会福祉援助技術論Ⅰ～Ⅳ」の学習を通じて、深く身につけていただくことが必要です。

それらの理解を前提に「社会福祉援助技術論Ⅰ」では、直接援助技術のなかの「個別援助技術（ケースワーク）」を学んでいただきます。

ケースワーク（個別援助技術）は、社会福祉援助（ソーシャルワーク）技術各論のなかでも、特に援助を必要としている人を価値ある固有の存在としてとらえ、定義し体系化されてきました（教科書1）p.149～150、教科書2）p.40～43）。

本科目では、ケースワーク発展の歴史を通して、個別援助技術が生活上のニーズや全体性にどのようにかかわっているのか考察し、援助の具体的な展開過程（教科書2）p.40～66）を学習します。同時にかげがえのない個人としての人間にかかわる上で必要なケース

ワークの基本原理や価値、自覚しなければならない基本的態度（教科書1）p.192）など方法と技術について学びます。

## 到達目標

- 1) 社会福祉士としての専門的知識・技術について説明できる。
- 2) ソーシャルワークのアプローチについて説明できる。
- 3) 社会福祉士の業務について応用できる。

## 教科書（社会福祉援助技術論Ⅰ・Ⅲ・Ⅳ共通）

- 1) 福祉士養成講座編集委員会編『新版 社会福祉士養成講座 8 社会福祉援助技術論Ⅰ（第3版）』中央法規出版、2006年
- 2) 福祉士養成講座編集委員会編『新版 社会福祉士養成講座 9 社会福祉援助技術論Ⅱ（第4版）』中央法規出版、2007年

## レポート課題

|       |   |
|-------|---|
| 1 単位め | 個別援助技術（ケースワーク）における医学モデル（診断主義）から生活モデルへの発展過程について述べよ。  |
| 2 単位め | <b>【説明型レポート】</b><br>下記について各々400字以上（合計2,192以内）で簡潔に説明して下さい。<br>① エンパワメントの定義と意義について<br>② 問題解決モデルについて<br>③ パイステックの7原則について<br>④ 個別援助技術の展開過程について<br>※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題 |

## アドバイス

**1単位め解説** ケースワーク（個別援助技術）は、社会福祉の目的を達成する手段として体系化され、ソーシャルワーカーがもっとも頻繁に用いる技術です。それは産業革命後のイギリス社会からアメリカへと移り発展してきました（教科書1）p.80～84）。特に「ケースワークの母」と呼ばれるリッチモンドの伝統的なケースワーク論から今日の社会経済の発展と人間生活の拡大に伴う生活問題へのアプローチには、医学モデル（診断派）から生活モデルへの歴史的な変遷がみられます（教科書1）p.84～91、p.238～241、教科書2）p.40～43）。テキストを熟読してケースワークの診断主義と機能主義、折衷主義を通して、医学モデルから生活モデルへの発展過程をまとめてください（教科書1）p.88～p.91、p.96～130）。また、その時々理論的支柱となった人物にも触

れてください。

2単位め  
解説

各々の課題について400字以上で簡潔明瞭に書いてください。各課題について教科書を中心に整理していきます。さらに関係する他の本についても確認してください。それらをまとめながらレポートにすると良いでしょう。個別援助の展開過程を通して、コミュニケーション技術、バイスティックの7原則、様々なアプローチなどを使用します。そこには多くの専門用語がでてきます。正確に理解してください。

## 科目修了試験 評価基準

- 1) 出題された問題に対して適切に論述されているか。
- 2) 専門用語について理解されているか。
- 3) 自身の考えが示されているかなどもについても評価の対象とする。

## 参考図書

荒川義子編著『医療ソーシャルワーカーの仕事―現場からの提言』川島書店、2000年

# 社会福祉援助技術論Ⅱ (社会福祉調査法)

~20◆

科目コード●C J 3 1 2 7

担当教員●三浦 剛(左)  
石 附 敬(右)



2 単位 | R or SR | 2 年以上

※この科目は、平成20年度以前入学者に対して開設されている科目です。平成21年度以降に入学した方の「社会調査の基礎」と同じ内容の科目です。レポート課題やアドバイスは『レポート課題集 A (社福・精保指定科目編)』『社会調査の基礎』をご覧ください。

# 社会福祉援助技術論Ⅲ (グループワーク)

~20◆

科目コード●C J 4 1 2 8

担当教員●熊谷和史



2 単位

R

3 年以上

この科目は、平成20年度以前入学者に対して開設されている科目です。平成21年度以降に入学した方は、履修することはできません。

## 科目の内容

人は生まれてから死ぬまで一生、好むと好まないに関わらず、様々な大小の集団（グループ）に所属ないしは包含された中で生活をしています。例えば、家庭、学校、職場、サークル、地域活動（町内会）等々です。そして、私たちは、こうしたグループから様々な影響を受け、学習し、経験を重ねながら、個人の人格や価値観、あるいは社会的な行動を形成していきます。その意味で、善し悪しは別にして、グループは人が社会的に生きるために重要な基盤（あるいは環境）といえます。

ところで、しばしばグループワークといえば、単なる「グループ活動」や「グループ単位の作業」と捉えられる場合があります。例えば、スポーツや団体競技、あるいは工作などの共同作業やミーティングなどをイメージするかもしれません。

しかし、社会福祉援助技術としてのグループワークとは、対人援助技術の一つの体系であり、単なるグループ活動とは違います。そして、グループワークの援助方法は社会福祉のみならず、医療、臨床心理、社会教育などの分野で幅広く用いられています。さらに、グループワークが使われる場も様々で、例えば、障害を持つ児童の夏期キャンプ、児童館、福祉施設、病院、各種支援センターなど、人が集まるあらゆる場で用いられています。

そこで本科目では、グループワークとはそもそも何か、その意義と目的を学びます。そして、グループワークの展開過程から、固有の方法・技術について学びます。

## 到達目標

- 1) グループワークとは何かを説明できる。
- 2) グループワークの実際の運用について理解できることを念頭に、レポート課題1単位めについて下記3) 4) を、課題2単位めについて p.27 5) 6) を目標として設定する。
- 3) 現代社会の中でグループワークの意義を説明できること。

- 4) グループダイナミックスの効用を理解し、そのいくつかを考察できること。
- 5) 各展開過程でのグループの状態と援助者の役割をそれぞれ説明できること。
- 6) 各展開過程を通じて、グループワークの運用を一体的に理解できること。

## 履修登録条件

この科目は、「社会福祉援助技術論Ⅰ」をすでに履修登録済みか、同時に履修登録をする方のみが履修登録できます。

## 教科書（社会福祉援助技術論Ⅰ・Ⅲ・Ⅳ共通）

- 1) 福祉士養成講座編集委員会編集『新版 社会福祉士養成講座 8 社会福祉援助技術論Ⅰ（第3版）』中央法規出版、2006年
- 2) 福祉士養成講座編集委員会編集『新版 社会福祉士養成講座 9 社会福祉援助技術論Ⅱ（第4版）』中央法規出版、2007年

※社会福祉援助技術論Ⅰと共通のため、この科目での教科書配本はありません。

## レポート課題

|       |   |
|-------|---|
| 1 単位め | グループワークの意義・目的を述べなさい。<br>※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題 |
| 2 単位め | グループワークの展開過程を述べなさい。                             |

## アドバイス

**1単位め解説** そもそも一般的にいわれるグループとは何かについて述べた後、グループワークの捉えるグループとは何か、その意義と目的について以下の①～⑤を中心にまとめ、最終的には、つまりグループワークとは何なのかについて簡潔に述べてください。

一般的なグループの意味については、教科書1)のpp.168-173を参照し、特に、①個人とグループの関係、②社会化と再社会化、③現代におけるグループの意義をまとめます。

グループワークの意義と目的については、教科書1)のpp.91-107、pp.149-157、pp.173-178、pp.212-227を参照し、④グループワークの定義、⑤治療教育力をまとめます。特に治療教育力は重要ですので、よくまとめてほしいと思います。

さらに学習を深めたい方は、下記の参考図書から様々なグループワーク・モデル（治療モデル、交互作用モデル、ヒューマニズムモデル、社会的諸目標モデルなど）や理論形成

に至る歴史的背景などを学ばれると良いと思います。

## 2単位め 解説

実際にグループワークがどのように運用されるのかを述べながら、グループワーク固有の方法・技術について学んでいきます。

グループの展開過程は、①準備期、②開始期、③作業期、④終結期があります。このことについて、教科書 1) の pp.212-227、pp.238-247、教科書 2) の pp.68-96、pp.371-377を参考にコンパクトにまとめてください。

なぜコンパクトなのかといいますと、例えば、準備期に行われる手順＝「計画」、「形成計画」、「波長あわせ」などの内容一つ一つを説明していくと大幅に規定の字数を超えてしまうからです。

規定の字数内でまとめることも学習の一つであると考え、はじめに展開過程とは何かについて簡単に説明した後、①～④それぞれについて300字～500字で「まとめ」、最後にグループワーク固有の方法・技術とは何かについて述べてほしいと思います。

さらに学習を深めたい方は、教科書 1) の pp.192-202や参考図書 1) からグループワークの原則や援助媒体をおさえる。あるいは、具体的な展開過程などは教科書 2) の事例などを読むことをおすすめします。

## 参考文献

- 1) 野村武夫『はじめて学ぶグループワーク』ミネルヴァ書房、1999年
- 2) 黒木保博ほか『グループワークの専門技術』中央法規出版、2001年
- 3) 大塚達雄ほか『グループワーク論』ミネルヴァ書房、1986年

参考図書の 1) は、グループワークを総体的に捉えるには良いかと思います。2) は、事例をふんだんに盛り込み、展開過程で気をつけるポイントなどが詳細に述べられていて実践的だと思います。3) は、場面別のグループワークの活用例など示唆に富みます。また、参考文献や解説、用語の索引が充実しています。

# 社会福祉援助技術論Ⅳ（コミュニティワーク） ~20◆

科目コード●C J 4 1 2 9

担当教員●松田昭裕



2 単位

R

3 年以上

この科目は、平成20年度以前入学者に対して開設されている科目です。平成21年度以降に入学した方は、履修することはできません。

## 科目の内容

地域において住民が何らかの要因で困難や問題が起こったときに、さまざまな社会資源を組織化し、かつ活用しながら問題解決に導いていくのが、地域援助技術（コミュニティワーク）です。近年、地域福祉の時代や在宅福祉の時代と言われるなか、地域で解決すべき課題が山積み、ますますコミュニティワークが果たす役割は大きくなっています。

地域援助技術は、地域社会の福祉ニーズや福祉問題、福祉運営の課題に対応して、直接援助技術が展開しやすいように環境を整える働きをする技術であるため、地域の歴史や特性、環境の違いを念頭に入れて展開されるものといえます。

この科目では、社会福祉援助技術を把握した上で、地域援助技術の対象・主体・組織・方法など体系と理論およびワーカーの役割について学びます。

## 到達目標

地域援助技術（コミュニティワーク）の沿革、展開過程のプロセス、コミュニティワーカーの役割を述べることができる。

## 教科書（社会福祉援助技術論Ⅰ・Ⅲ・Ⅳ共通）

- 1) 福祉士養成講座編集委員会編『新版 社会福祉士養成講座 8 社会福祉援助技術論Ⅰ（第3版）』中央法規出版、2006年
- 2) 福祉士養成講座編集委員会編『新版 社会福祉士養成講座 9 社会福祉援助技術論Ⅱ（第4版）』中央法規出版、2007年

※社会福祉援助技術論Ⅰと共通のため、この科目での教科書配本はありません。

## 履修登録条件

この科目は、「社会福祉援助技術論Ⅰ」をすでに履修登録済みか、同時に履修登録をす

る方のみが履修登録できます。

## レポート課題

|       |  |
|-------|--|
| 1 単位め | 日本におけるコミュニティワークの沿革を述べ、コミュニティワーカーの役割について論説しなさい。   |
| 2 単位め | あなたの身近な事例（架空の事例も可）、またはテキストの事例を織り込みながら、地域援助技術の展開過程のプロセスを参考にまとめ、あなたの考えを述べなさい。<br>※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題 |

## アドバイス

地域援助技術は、自分の住んでいる地域のことを想定しながら読み進めていくと、より深く理解が進むと思います。

また実際に地域援助に携わっている方は、ご自身の仕事の内容と実際の業務とを比較しながら読み込んでいくと、理解の幅がぐっと広がっていくと思います。

自分自身の問題、つまり当事者意識でこの科目を学修されることをお勧めいたします。

### 1単位め 解説

国政的には、コミュニティワークの前身はCOS（慈善組織協会）の活動やセツルメント活動などであるが、ここでは、日本の沿革を学んでください。さらに、ワーカーとしての役割についても、しっかりと学んでください。

### 2単位め 解説

事例研究としての課題です。その事例もあなたが決めてください。あなたの身近にある事例、架空の事例、または、テキストにある事例を取り上げ、地域援助技術の展開過程の「活動の発端」から「ステップ4」にもとづいてまとめ、あなたの考えを記してください。なお、展開過程は、「活動の発端」は必ず必要ですが、「ステップ1～4」は、必ずしもその順序になるとは限りません。

## 科目修了試験 評価基準

内容を理解しているか、キーワードが適切に使用されているかを評価基準にします。

## 参考文献

- 1) 杉本敏夫・斉藤千鶴編『改訂 コミュニティワーク入門』中央法規出版、2003年
- 2) 高森敬久ほか著『地域福祉援助技術論』相川書房、2003年
- 3) 井岡勉監修『住民主体の地域福祉論』法律文化社、2008年

- 4) 濱野一郎ほか編 『コミュニティワークの理論と実践を学ぶ』 みらい、2004年
- 5) 山田宜廣著 『住民主導の地域福祉運営』 筒井書房、2009年

# 社会福祉援助技術演習Ⅰ

~20◆

科目コード●CN3130

担当教員●君島昌志・大橋雅啓・佐々木達雄・齋藤征人・竹田征子  
千葉喜久也・芳賀恭司・長谷川千種ほか

2 単位

SR

2 年以上

※平成20年度以前入学者に対して開設されている科目です。平成21年度以降に入学した方は、履修することはできません。

※社会福祉士を目指す方々を対象とした講義となります。

※「社会福祉援助技術演習A」と合併授業になります。

## 科目の内容

社会福祉学は「実践の科学」といわれるように、単なる理論学習だけでは実際の援助活動を行うことは困難といえるでしょう。理論を活用し役立てるためには、援助実践の場に具体化していくための援助技術の学習と体得が不可欠となります。社会福祉援助技術とは、さまざまな技術論を実際の援助活動の中で展開するための方法だといえるでしょう。

本演習では、社会福祉援助技術論における理論や知識を踏まえた上で、特に、倫理・価値観、面接技法などの基本的なソーシャルワーク実践の方法・技術のいくつかを取り上げ、役割演技、グループ討議などを通し、統合的、主体的に学習することを目的としています。

## 到達目標

- 1) 視点、モデル、アプローチなど社会福祉援助技術の枠組みが説明できる。
- 2) 社会福祉専門職としての「自己」について、客観的な視点から説明できる。
- 3) 社会福祉の価値、倫理について説明できる。
- 4) 言語的コミュニケーション、非言語的コミュニケーションの基礎を身につけ、基本的な面接技術を学習の場で実践できる。
- 5) 相談援助の過程を事例を通し具体的にイメージすることができ、説明できる。
- 6) 相談援助の基盤と専門性について説明できる。

## 教科書 「社会福祉援助技術演習Ⅱ」でも使用予定

白澤政和・中谷陽明・長谷川匡俊・上野谷加代子編集『社会福祉士相談援助演習（第2版）』中央法規出版、2015年（第2版でなくても可）

（最近の教科書変更時期）2015年3月

## 在宅学習15のポイント

『レポート課題集 A (社福・精保指定科目編)』『社会福祉援助技術演習 A』参照

### レポート課題

※レポートの提出方法は p.35を参照のこと。

1 単位め

(スクーリング事前課題=スクーリング受講申込締切日までに送付)

社会福祉の専門職としてめざすべき社会福祉援助活動のあり方について論じなさい。

2 単位め

(スクーリング事後課題=スクーリング受講後に提出)

「演習 I」のスクーリングを受講しての自身の振り返りを行いながら、社会福祉士として求められるものをまとめなさい。

### アドバイス

1単位め  
解説

はじめに、教科書『社会福祉士相談援助演習』を熟読し、社会福祉援助技術の課題について問題意識をもってください。次に1章から2章までを読んで、社会福祉援助技術の概要について学ぶとともに、社会福祉援助技術の過去、現在における考え方などを整理して、その違いなどについてもまとめてください。そして、自分自身の歴史、性格、価値観などについても客観的に見つめなおしてください。

以上の過程を経た上で、社会福祉の専門職としてめざすべき社会福祉援助活動のあり方について論じてください。もちろん、他の文献、新聞記事などを活用すること、および社会生活上の問題をとりあげ、考察、分析することも大切なことです。

すでに社会福祉にかかわっている方々は、その経験を生かして論じてくださっても結構です。

以上、課題としてはたいへん幅広いのですが、レポートを作成する際には、自分が意図することを明確に、あるいは視点をはっきりさせて整理することが大切です。

たとえば下記の①～④のなかの1つ、またはいくつかに焦点をあててまとめながら「社会福祉の専門職としてめざすべき社会福祉援助活動のあり方」を考えていただければよいのではないのでしょうか（①～④すべてに解答する必要はありません。また①～④以外の論点から論じていただいて結構です）。

- ① 社会福祉援助技術とは何か、および諸方法を自分なりに整理し、わかりやすくまとめてください。社会福祉援助は、援助を必要とする人々(サービスの利用者)に対して、

問題の解決や軽減を図ることを目的としています。この過程は社会福祉の援助技術を駆使して行われるものです。

- ② 社会福祉援助技術者は、援助を必要とする人々(利用者)にどう向き合い、どのような役割をもってかかわるべきでしょうか。援助を必要とする人々(利用者)主体の援助活動を行うために、あなたはどんなセンス、感性を大事にしようとしていますか。自分自身の歴史、性格、価値観などについても客観的に見つめなおすことも必要になってくるかもしれません。
- ③ 社会福祉援助技術者は専門職として「援助を必要とする人々(利用者)の基本的人権の尊重」「自立・自己決定を重視する援助のあり方」などの基本的な倫理・原理をもつことが必要です。

社会福祉の専門職として、これまでもその専門職倫理が厳しく問われ続けられてきましたが、その倫理観を逸脱する悲しい事件が後を断たない現実があります。福祉の現場のなかのごく一部の人はとはいえ、なぜ援助者が加害者となり、援助を必要とする人々(利用者)の人権を侵害する行為がなくなるのでしょうか。

「人権感覚」という言葉があるように、「この人にはそういうことをしてはいけない」と判断する能力は、人権に関する知識をどれだけ学んだかというだけでは得られるとは限りません。常に新しい知識を身につけながら、自分の人権感覚をいつも研ぎ澄ませておく努力が必要です。あなたの人権に関するセンス・感性について、福祉専門職を目指す者として大事にしてほしいと思います。

- ④ 適切な援助を行うには、援助を必要とする人々(利用者)の理解が重要です。援助を必要とする人々(利用者)自身が社会福祉援助過程で、私たち援助者に対して、どんなことを期待し援助を求めているのかを、援助を必要とする人々(利用者)の視点で考察してください。また、アセスメント(事前評価)とは、何のために、何について、どのようなことをすることででしょうか。そして、アセスメント(事前評価)は社会福祉援助とどのように関連していて、どのような影響を与えているのでしょうか。また、社会福祉援助活動におけるより客観的なアセスメントの普及・発展がもたらす効果についても考察してみてください。

2単位め  
解説

利用者の尊厳を守り、利用者主体の原則を実現するための社会福祉士の役割について考えてください。一般論としてだけでなく、演習Ⅰのスクーリングを受講しての自身の体験をふりかえりも含めて、まとめてください。

## レポートの提出方法

### 1・2単位め共通

- ・1課題につき1冊のレポート用紙を使用すること。
- ・字数は2,000字程度（最長4,000字程度）。

### 1単位めについて

- ・提出締切はスクーリング受講判定日（5/31・6/15・6/30・11/30）必着。
- ・レポート用紙の担当教員名は未記入で提出すること。
- ・返却はスクーリング受講申込締切日から約1カ月後になります。

### 2単位めについて

- ・提出締切は「演習Ⅱ」を同年9～12月に受講希望する人は9/15（10/15でも可だが、「演習Ⅱ」の受講は10月下旬以降で定員に余裕のある会場のみとなります）、翌年5～6月に受講希望する人は3/15or4/15。
- ・レポート用紙の担当教員名はスクーリング時の教員名を書くこと。

## 演習Ⅰ スクーリング受講条件

受講判定日（6～8月開講分：5/31・6/15・6/30、12～1月開講分：11/30）までに

- ①「社会福祉援助技術論Ⅰ」の2単位分のレポート提出
- ②「社会福祉援助技術演習Ⅰ」の1単位めのレポート提出
- ③一括認定単位を除き20単位以上修得

※5/31までに申し込んで、受講条件の達成が6/15や6/30になった場合、受講可能なのは7月中旬以降で定員に余裕のある会場となります。

※7月中旬以降の会場で定員に余裕がある場合、6/30締切で申込を受け付けることがあります。

※「高齢者福祉論」「障害者福祉論」「児童福祉論」「福祉社会学」「福祉法学」「福祉心理学」などのうち数科目の学習を進めるなど、十分事前準備をしてから受講してください。

## 演習Ⅰ スクーリング申込手続

### 申込時の注意点

- ・『With』（3月号や9月号頃を予定）巻末の申込ハガキまたは用紙を郵送すること。
- ・必ず第2希望まで○をつけること（第1希望と同一は不可）。
- ・申込後の希望の変更は不可。

### 各申込日について

- ・5/31締切の申込→6～8月に受講を希望する方がお申込みください。

※受講判定日（5 / 31 or 6 / 15 or 6 / 30）までに受講条件を達成すること（早めに達成した方が希望の会場で受講できる可能性は高くなります）。

・11 / 30締切の申込→12～1月に受講を希望する方がお申込みください。

※11 / 30までに受講条件も達成すること。

## スクーリング受講クラスの決定方法

---

『レポート課題集 A（社福・精保指定科目編）』『社会福祉援助技術演習 A』を参照してください。

## スクーリング講義概要

---

『試験・スクーリング 情報ブック』をご参照ください。

## 単位認定

---

『レポート課題集 A（社福・精保指定科目編）』『社会福祉援助技術演習 A』を参照してください。

## 体験学習

---

『レポート課題集 A（社福・精保指定科目編）』『社会福祉援助技術演習 A』を参照してください。

# 社会福祉援助技術演習Ⅱ

~20◆

科目コード●CN4131

担当教員●関川伸哉・山川敏久・三浦 剛・石田力  
佐々木裕彦・川口正義・佐藤博彦ほか

2 単位

SR

3 年以上

※この科目は、平成20年度以前入学者に対して開設されている科目です。平成21年度以降に入学した方は、履修することはできません。

※「社会福祉援助技術演習B」と合併授業となります。

## 科目の内容

『レポート課題集A（社福・精保指定科目編）』『社会福祉援助技術演習B』を参照してください。

## 到達目標

- 1) 一連の相談援助過程を具体的イメージを持って説明でき、その基本的な技術を演習場面において実践できる。
- 2) 事例などから支援計画を作成することができる。
- 3) 社会資源の活用やネットワーク形成の技術について具体的に説明できる。
- 4) プロセス評価、効果測定についてその方法を説明することができる。
- 5) 社会福祉援助活動で使用される基本的な言葉の意味を的確に説明することができる。

## 教科書（いずれも「社会福祉援助技術演習Ⅰ」と共通）

- 1) 白澤政和・中谷陽明・長谷川匡俊・上野谷加代子編集『社会福祉士相談援助演習（第2版）』中央法規出版、2015年（第2版でなくても可）
- 2) 必要に応じて他の書籍・資料を配布します。

（最近の教科書変更時期）2015年3月

## 履修登録条件

この科目は、「社会福祉援助技術演習Ⅰ」をすでに履修登録済みか、同時に履修登録をするのみが履修登録できます。

## 在宅学習15のポイント

『レポート課題集 A (社福・精保指定科目編)』『社会福祉援助技術演習 B』参照

## レポート課題

※レポートの提出方法は、p.39を参照のこと。

### 1 単位め

相談援助実践における記録の意義と具体的記述方法をまとめてください。また、ソーシャルワーカーにとって地域社会資源の活用や開発の①意義や必要性②その留意点について述べるとともに、同じく相談援助におけるスーパービジョンの目的、機能、あり方についてまとめてください。

(担当：佐藤博彦)

### 2 単位め

平成18年に改正、平成19年に公布された「社会福祉士および介護福祉士法」の一部改正に伴う、今後の社会福祉士の役割と課題についてまとめてください。

(担当：関川伸哉)

## アドバイス

※レポート作成に当たっては、ご自身の経験だけでなく、教科書をよく読んだうえで取り組んでください。2単位めは5冊以上の文献にあたってください。ただし、教科書や文献の丸写しは避けてください。

### 1単位め 解説

ソーシャルワーク実践における記録の意義とはなんでしょうか。まず、何故ソーシャルワーク実践において記録が必要なのか考えてみましょう。また、記録形式や文体についてまとめてください。次に、スーパービジョンについてです。スーパービジョンは、ソーシャルワーク実践に関して、知識・技術・倫理等が十分備わっていないワーカーに対してもなされるものですが、経験豊かなワーカーにもその必要性があります。ソーシャルワーク実践において、実践に携わるすべてのワーカーに対して、何故スーパービジョンが必要なのでしょう。そのスーパービジョンの目的、機能、あり方についてまとめてみましょう。また、記録とスーパービジョンの関係性も併せて考察してみましょう。

また、現在、相談援助技法の一つと考えられているケアマネジメントは、利用者のニーズと社会資源を結びつけることがその中心的な概念です。そこで地域の社会資源活用やそれらが十分とは言えない場合、また使いにくい場合の開発の考え方や方法は、ケアマネジメントの学習を通しておこなうのがよいと思います。本冊子 p.39の参考図書を参考にしてください。

## 2単位め 解説

はじめに、平成19年公布の法改正にいたる背景について整理してください。その後、課題について客観的にまとめてください。その際に、事実と各自の考察（考え）をしっかりと分けて作成するように心掛けてください。また、レポート作成の際には、必ず章立てを行ってください。

記載方法（例）

1. 法改正にいたる背景について
2. 改正の主な〇〇について
3. 今後の社会福祉士の役割について
4. 今後の社会福祉士の課題について
5. まとめ

引用・参考文献

※レポート末尾に本文中で使用した引用・参考文献を必ず5つ以上明示してください。

## 参考図書

- 1) 福山和女編著『ソーシャルワークのスーパービジョン』(MINERVA 福祉専門職セミナー14)、ミネルヴァ書房、2005年
- 2) 副田あけみ・小嶋章吾編著『ソーシャルワーク記録—理論と技法』誠信書房、2006年

## レポートの提出方法・期限

- ・ 1単位につき1冊のレポート用紙を使用してください。
- ・ 各レポートの字数は2,000字程度ですが、最長4,000字程度まで可です。  
(パソコン用：左右40字×30行×4枚まで、手書き用：最終ページまで。)
- ・ 各レポート用紙表紙には、「レポート課題」記載の担当教員名を記入してください。

1単位めは、スクーリング受講判定日まで提出してください。

2単位めは、スクーリング受講後11/30までに提出してください。

## 演習Ⅱ スクーリング受講条件

下記(1)(2)を満たしていることが必要です。

- (1) 3年生以上の方、または10月生は9/15時点で、4月生は3/15時点で2年生の方。
- (2) 受講判定日（9～11月開講分：9/15・10/15、5～6月開講分：3/15・4/15）までに、下記の①～④の条件を達成していること。

- ① 「社会福祉援助技術論Ⅰ」「社会福祉援助技術演習Ⅰ」の2科目分すべてのレポート提出。

- ② 上記2科目以外に社会福祉士・指定科目のなかから4科目分すべてのレポート提出（個別単位認定科目を除く）。
- ③ 「演習Ⅱ」の1単位めレポートの提出。
- ④ 認定単位を除き20単位以上の修得。

※9～10月のスクーリングは9/15時点で条件を満たさないと、原則受講できません。

## 演習Ⅱ スクーリング申込手続

---

### 申込時の注意点

- ・ 申込締切は **9/15** または **3/15** です。
- ・ 『With』（7～8月号や1月号を予定）巻末の申込ハガキまたは用紙を郵送すること。
- ・ 必ず第2希望まで○をつけること（第1希望と同一は不可）。
- ・ 申込後の希望の変更は受け付けかねます。

### 各申込日について

- ・ **9/15締切**の申込→9～11月に受講を希望する方がお申込みください。
- ・ **3/15締切**の申込→5～6月に受講を希望する方がお申込みください。

## スクーリング受講クラスの決定方法

---

『レポート課題集 A（社福・精保指定科目編）』『社会福祉援助技術演習 B』参照。

## スクーリング講義概要

---

『試験・スクーリング 情報ブック』をご参照ください。

## 単位認定

---

『レポート課題集 A（社福・精保指定科目編）』『社会福祉援助技術演習 B』参照。

# 社会福祉援助技術現場実習指導

~20◆

科目コード●CP5132

担当教員●阿部一彦・高橋誠一・田中治和・三浦剛・山川敏久  
君島昌志・中里仁・佐藤哲夫・佐々木裕彦  
川口正義・竹之内章代・佐藤博彦ほか多数

2 単位

SR

4 年

※平成20年度以前入学者に対して開設されている科目です。平成21年度以降に入学した方は、履修することはできません。

※事前指導①②のスクーリングを欠席した場合、社会福祉援助技術現場実習の受講はできません。

※事後指導のスクーリングを欠席した場合、社会福祉士国家試験受験資格を取得できません。

※今後の実習受け入れ状況などにより、ここに記載の内容・日程を変更する場合があります。『実習の手引き』や『With』でご案内します。

## 科目の内容

これまで学修してきた社会福祉学の専門知識を深化させるとともに、各自の援助能力の開発・今後の課題の明確化・自己理解を深める場であり、あわせて福祉専門職としての倫理観を理解する機会となります。

- 1) 事前指導①② 実習計画の作成と事前準備（実習の心構え、対人援助・援助過程等の確認、記録作成）。
- 2) 事後指導 実習体験の意識化・客観化・内面化の作業、抽象化・体系化できる能力の涵養<sup>かんよう</sup>に努める。

## 到達目標

- 1) 実習をおこなう施設・機関等を利用する地域や利用者の実態、生活ニーズ等について具体的データ等を示しながら説明することができる。
- 2) 実習をおこなう施設・機関等の根拠法、機能、業務内容について説明できる。
- 3) 実習をおこなう施設・機関等においておこなわれている関連業務の内容や他職種との役割等について説明できる。
- 4) 「実習計画案」を作成することができる。
- 5) プライバシー保護と守秘義務について法的基準や方法の説明ができる。

- 6) 実習記録の記録内容を理解し、実際に記録できる。
- 7) 実習施設・機関業務、周辺社会資源について具体的に説明できる。
- 8) 実習課題を整理し、専門職としての今後の課題を説明できる。
- 9) 援助技術理論に沿って具体的な社会福祉士像をつくり、他者に伝えることができる。

## 教科書

- 1) 『社会福祉援助技術実習の手引き（第1分冊）』東北福祉大学（演習Ⅰ・Ⅱ受講者に配付）
- 2) 『社会福祉援助技術実習の手引き（第2分冊）』東北福祉大学（実習申込者に配付）
- 3) 『社会福祉援助技術実習 課題ノート』東北福祉大学（実習申込者に配付）
- 4) 白澤政和・中谷陽明・長谷川匡俊・上野谷加代子編『社会福祉士相談援助実習（第2版）』中央法規出版、2014年

（最近の教科書変更時期）2014年4月

## 在宅学習15のポイント

『レポート課題集A（社福・精保指定科目編）』『社会福祉援助技術実習指導A・B』参照

## レポート課題

|      |  |
|------|--|
| 課題 1 | <p><b>事前①スクーリング 受講前の課題</b></p> <p>(1) 『実習の手引き 第1分冊』巻末の「様式6-1～4 実習計画案（下書き用）」を作成する（鉛筆書き）＝<b>コピー1部（A4サイズ、両面コピー不可）を締切日必着で通信教育部まで送付</b>してください。</p> <p>※ 返信封筒を同封（定形封筒なら92円切手貼付・あて先明記）。<br/>         ※ 提出締切日は『試験・スクーリング 情報ブック』を参照。</p> <p>(2) 『社会福祉援助技術実習 課題ノート』（鉛筆書き）の「事前訪問までの準備」の部分をすべて完成させる（「事前訪問の主な課題」の部分は記入できる範囲で記入する）＝<b>事前①スクーリング時に持参</b>。完成していない場合、または内容不十分な場合は、スクーリングが不合格となり、次年度の実習は受講できません。</p> |
| 課題 2 | <p><b>事前①スクーリング 受講後の課題</b></p> <p>(1) 『実習の手引き 第1分冊』巻末の「様式7-1～6 実習計画書」を完成させる＝<b>実習開始日の1カ月前必着でコピー2部を通信教育部、コピー1部を実習先まで送付</b>してください。</p> <p>(2) 実習先への事前訪問後、『社会福祉援助技術実習 課題ノート』の「事前訪問学習の主な課題」の部分ほかすべてを完成させる＝<b>実習先に持参し活用したうえで事後指導スクーリング時に持参</b>してください。</p>   |

## 課題 3

## 実習後、事後指導スクーリング受講前の課題

- (1) 実習事後レポート：4,000字程度＝締切日必着で通信教育部まで送付してください。
- ※ 提出締切日は『試験・スクーリング 情報ブック』を参照。
- (2) 『社会福祉援助技術実習 課題ノート』完成させたもの＝事後指導スクーリングの際に持参してください。

## アドバイス

主体的に取り組んでください。また、教科書は必ず熟読してください。実習に関する上記「課題学習」の内容や流れの詳細は、下記、および実習係から配付される書類やスクーリング時の指示に従ってください。

## ◆実習指導スクーリング 受講条件・申込方法

## 受講条件

実習申込受理判定に合格していること。

## スクーリング申込方法

実習申込が受理された後に大学から送られる申込用紙を提出。

※受講条件および申込方法の詳細は、「演習Ⅰ」スクーリングで配付の『社会福祉援助技術実習の手引き（第1分冊）』を参照。

## スクーリング開講予定

※詳細は『試験・スクーリング 情報ブック』をご参照ください。

## スクーリング講義概要

『試験・スクーリング 情報ブック』をご参照ください。

## 単位認定

(1)事前指導①②スクーリング+(2)実習計画案+(3)実習+(4)『社会福祉援助技術現場実習・課題ノート』+(5)実習記録+(6)事後レポート+(7)事後指導スクーリングにより評価を行います。単位認定通知は、事後スクーリング受講から1カ月程度で書面で通知します。

## 参考図書

『レポート課題集 A（社福・精保指定科目編）』『社会福祉援助技術実習指導 A』の「参考図書」参照。

# 社会福祉援助技術現場実習

~20◆

科目コード●CP5901

担当教員●阿部一彦・高橋誠一・田中治和・三浦剛・山川敏久  
君島昌志・中里仁・佐藤哲夫・佐々木裕彦  
川口正義・竹之内章代・佐藤博彦ほか多数

4単位

実習科目

4年

※平成20年度以前入学者に対して開設されている科目です。平成21年度以降に入学した方は、履修することはできません。

※今後の実習受け入れ状況などにより、ここに記載の内容・日程を変更する場合があります。『実習の手引き』や『With』でご案内します。

## 科目の内容

指定施設において、24日間以上かつ180時間以上の現場実習を行うものです。

実習を通し、社会福祉士としての価値や倫理、技術を十分にご自分のものとしていくことが望まれます。

詳細は『社会福祉援助技術実習 課題ノート』に記載の内容と実習係から配付される書類、ならびに前年度の次年度実習ガイダンス、および事前指導スクーリング時に指示されます。

## 到達目標

- 1) 社会福祉士、社会福祉専門職として求められる価値・倫理観および基本的態度を実習を通して示すことができる。
- 2) 実習機関、施設における相談援助実習を通して、相談援助に関する知識と技術を体験的に理解し、実習指導者の指導のもと、実践することができる。
- 3) 社会福祉士、社会福祉専門職として求められる自己の課題を実習体験を通じて分析し、今後の課題を明確に述べることができる。

到達目標の具体的内容は以下の通りである

- ①利用者および実習指導者などの関係者との円滑な人間関係の形成ができる。
- ②利用者やその家族などとの援助関係の形成ができる。
- ③利用者のニーズの把握（アセスメント）及び支援計画の作成ができる。
- ④生活場面面接、生活支援などの直接的技術の実践ができる。
- ⑤実習記録を用いての実践の評価ができる。
- ⑥権利擁護、チームアプローチ、事業の運営管理、地域社会への働きかけなどの技術

を体験したり、実践できる。

- ⑦社会福祉士、社会福祉専門職としての職業倫理、責任と役割について述べるができる。

## 教科書

「社会福祉援助技術現場実習指導」に同じ。

## アドバイス

実習計画案作成にあたっては、健康管理を含め無理のない日程になるよう十分配慮してください。主体的に取り組んでください。また、教科書は必ず熟読してください。実習に関する「課題学習」の内容や流れの詳細は実習係から配付される書類の指示に従ってください。

## 実習日数・時期・対象施設

### ◆実習日数

24日間以上かつ180時間以上（1日8時間程度（休憩時間を含まない））。

- ※ 実習の分割：4分割まで可能（同一年度、同一実習先にて、1回5日間以上で。大学および実習先の許可が必要。学習効果の観点から鑑みると2回までの分割を推奨）。

### ◆実習時期

**前年9/15申込で実習の受講が認められた方→6月第4週～12/25**

※ 9月末卒業希望者：6月第4週～8月第2週

（実習申込から卒業までの流れ）

- (1) 9/1～9/15に実習申込 → (2) 4月～6月に事前指導受講 → (3) 6月第4週～12/25の期間に実習（9月末卒業希望者は6月第4週～8月第2週） → (4) 9月～12月に事後指導受講（9月卒業希望者は8月末または9月上旬に仙台で受講） → (5) 卒業

### ◆実習対象施設

・『学習の手引き』3章に記載の法令で定められた施設。

※ただし、対象施設・事業であっても法令要件等により実習が認められない場合があります。

## ◆現場実習 申込方法・受理条件

申込締切日（9/15）までに申込書類（「社会福祉援助技術実習希望届」など）を提出。

申込受理判定日（10/31or11/30or12/20or1/31）までに受理条件を達成。

※申込方法および受理条件の詳細は、『学習の手引き』または「演習Ⅰ」スクーリングで配付の『社会福祉援助技術実習の手引き（第1分冊）』を参照。

※受理条件は、変更になる場合があります。実習申込年以外に「演習Ⅰ」を受講した場合、最新の条件を『With』などでの案内によりご確認ください。

## 単位認定

本学の担当教員が総括的に評価し合格点に達した場合に単位が認定されます。原則として、「社会福祉援助技術現場実習指導」スクーリング結果通知と一しょに、事後指導スクーリング受講から1カ月程度で書面で通知します。

## 実習費

実習費（80,000円）と、事前指導①②スクーリング受講料（15,000円）は5/10まで、事後指導スクーリング受講料（10,000円）は8月末（8・9月受講）または11月中旬（他日程受講）までにそれぞれ納入依頼書にてコンビニエンス・ストアで納入してください。一旦納入した実習費は、返金できませんのでご注意ください。

実習費には、実習保険加入費、実習委託費、実習巡回費、帰校指導費、諸手続き費などが含まれています。実習先が委託費の受取を辞退した場合でも、その部分を実習生に返金することはできません。

## 巡回指導・帰校指導について

『レポート課題集 A（社福・精保指定科目編）』の「巡回指導・帰校指導について」参照。

## 帰校指導日の開講要領

『レポート課題集 A（社福・精保指定科目編）』の「帰校指導日の開講要領」参照。

## インフルエンザ、はしかなどの感染症対策について

『社会福祉援助技術実習の手引き（第1分冊）』（「体験学習・次年度実習ガイダンス」受講時に配付）参照。

通信教育で学ぶことを決意されたみなさまは、多くの本を読み、知識として得たこと、自ら考えたことを「レポート」という形にまとめていくことが、これからの学習活動の中心になります。

この『レポート課題集』は、一般の大学の授業と同じ働きをするものです。その科目で何を学んでほしいかの「科目の内容」、レポート課題に取り組むにあたっての「アドバイス」などには、担当の先生方からみなさまへのメッセージが込められています。

今後学習を進めていくなかで、時には本の内容がまったく頭に入らなかったり、レポート用紙を前に何を書けばよいかとまどったりすることがあるかもしれませんが。そんなときは、ちょっと一休みしたあと、この『レポート課題集』のなかにある担当の先生方からのアドバイスをもう一度読んで、取り組みやすそうな課題から再び学習を始めてください。

学問って難しそうに感じることもありますが、人間が考えたことです。必ず理解できるはずですよ。どうしてもわからないときは、「質問票」を使って担当の先生に質問をすることもできます。

みなさまがこの『レポート課題集』を存分に活用し、学習を順調に進めていかれることを願っています。

---

## レポート課題集2015E ダウンロード版

---

2015年6月10日 初版発行

発行 東北福祉大学通信教育部  
〒983-8511 仙台市宮城野区榴岡2-5-26  
電話022-233-2211 <http://www.tfu.ac.jp>  
印刷・製本 ㈱ホクトコーポレーション

---

©Tohoku Fukushi University 2015 Printed in Japan

本書の一部または全部を無断で複写複製（コピー）することは、著作権法上の例外を除き、禁じられています。